

# KG神奈川ゆる登山の会報告：第52回 宇都宮・石の里大谷

開催日：2023年11月23日（木）

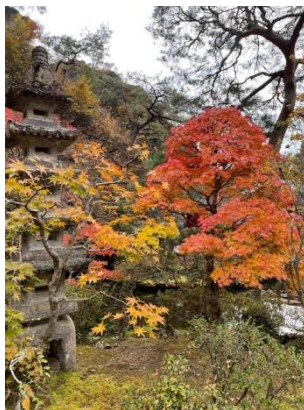
参加者（卒年、敬称略）

神奈川支部：松本喜代郎、永田淳、橋本省子、佐藤義廣、橋本史郎、田中敏恵、矢野和子、三浦美智子、井村正和、森田誠、林宏幸、柳澤剛、上西武彦、松本邦康、田中康弘（計15名）

栃木県支部：高橋武、成瀬忍、中島逸男（計3名）

茨城支部：原光明、東野耕一、小西宏幸、小山欽一郎（計4名）

今回は、首都圏近隣支部とのコラボ企画で、栃木県支部の協力を得て宇都宮市の大谷資料館、大谷寺を巡りました。JR宇都宮駅から路線バスで30分程度で大谷資料館前に到着、数分歩けば地下坑内と地上との隙間から冷気が上がってきます。入口から石段を下れば気温は8.6℃とひんやりと感じられ、目の前に大空間が広がり、照明に浮かび上がる採掘跡の陰影は幻想的で、別世界。採掘された大谷石は加工しやすく、建築材として重宝されました。休憩後、日本最古の摩崖仏を拝むことのできる大谷観音へ。住職より寺の成り立ちを拝聴し、岩面に直接彫刻された本尊千手観音、石仏群をお参り後、有志で裏山の「御止山（おとめやま）」に登頂、隣接の平和観音にもお参り、石の里大谷を後にしてバスで宇都宮駅方面に向かい、途中の餃子屋さんで3支部交流会を盛大に開催しました。紅葉の時期の祝日でしたが大した混雑はなく、穏やかな秋の気候のもとで多くの同窓生と楽しく過ごしました。



次回のお知らせ：12月9日（土）  
熱海・玄岳（くろたけ）